



第 73 回日本医学検査学会 in 金沢

命を見つめ・未来を拓く
One step ahead 臨床検査



第 73 回日本医学検査学会

学会長 油野 友二

(学校法人 北陸大学 医療保健学部)

本年 1 月 1 日、石川県能登地方を震源とする令和 6 年能登半島地震によりお亡くなりになりました方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されておられます方々に深く敬意を表しますとともに、皆さまの安全と、一日も早い復興をお祈りいたしております。

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会は会員の皆さまのご協力を得て被災者の安全と健康、そして被災地の復興に向けて支援活動を行っております。そのような状況の中で、第 73 回日本医学検査学会を 2024 年 5 月 11 日（土）～12 日（日）の 2 日間の日程で石川県金沢市において石川県臨床衛生検査技師会が担当して開催させていただくことになりました。現在、開催地である金沢は学会会場、全国からの交通網等に震災による影響はなく、何よりも復興支援のためにも全日程予定通り開催することといたしました。

学会テーマは「命を見つめ・未来を拓く One step ahead 臨床検査」としました。病態情報の提供・相談により『命を見つめている』のが臨床検査で、それを支えているのが臨床検査技師です。日本医学検査学会はこれまでも時代に応じて臨床検査の未来を見つめてきました。突然の環境変化や医療・IT 技術の急激な変化の中で私たちは、大切な命のために、何をすべきか、今、何ができるのか。この学会ではこれらを考え、新しい一歩 One Step を実感していただける機会とし、未来を拓くための集いとして考えております。

特別講演は 4 つの世界を描きました。第一は Science (科学)、より深いひとへの理解として生物学的な知識の習得により見えてくる世界を考える。第二は Life (生活)、専門技術職においても、近くには高齢化社会などの課題があり、ワークライフバランスをどのように考えるか。第三は Mind (心)、自分の意思をどのように表現するか。表現し理解を得るためには何が必要か。自分という箱を超えると何が見えてくるか。第四は Global (世界的)、世界規模でみると、考えるとき、そこにある気づきを考える。その他、学会企画は AI、ゲノム医療、質量分析、ノンテクニカルスキルといった 11 企画、臨地に即した部門別企画 22 など全 46 企画、一般演題発表 561 演題を皆さまとの交流の場として設けることができました。

開催地の金沢は伝統・文化が薫る美しい街です。新緑の金沢で皆様とお目にかかることを石川県臨床衛生検査技師会会員一同、とても楽しみに致しております。